本資料は、クライアントコンピューターで楽²ライブラリ クラ イアントサーバのブラウザ画面を表示するための手順について 説明したものです。

※本資料の内容は2024年3月時点のものです。

社名および商品名は各社の商標または、登録商標です。 記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示(®、™)を付記していません。

- 目次 -

| 1. | 楽 ² ビューアをインストールする | 2 |
|----|-------------------------------|----|
| 2. | 楽2サーバを信頼済みサイトに登録する1 | .0 |
| 3. | 接続する楽2サーバのアドレスを登録する1 | 2 |
| 4. | IEモード定義ファイル(XMLファイル)をインポートする2 | 2 |
| 5. | 楽 2 サーバをIEモード設定に追加する3 | 0 |
| 6. | 困ったときには | 2 |



 楽2サーバのIPアドレスやサーバ名を変更した場合は、お使いになるク
 ライアントコンピュータすべてについて、本書の「2.楽2サーバを信頼 済みサイトに登録する」以降を行ってください。
 ※楽²ビューアの再インストールは必須ではありません。

1. 楽²ビューアをインストールする

クライアントコンピューターに楽²ビューアをインストールします。旧版の楽²ビューア がインストールされているときには、アップデート(更新)することができます。



Administrators権限(コンピュータの管理者権限)のあるユーザー名 でログオンしてからアップデートしてください。

1. Webブラウザを開き、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開きます。



- ・この時点では、任意のブラウザをお使いいただけます。
 ・開いた楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面は正常 に表示されないことがありますが、そのまま操作を続けてください。
- 「インストール」ボタンをクリックして、楽²ビューアのインストーラをダウンロードします。



3. 楽²ビューアのインストーラ(Raku2.exe)の実行または保存確認画面で「実行」を クリックします。

| から Raku2.exe (MB) を実行または保存しますか? | | | | | × |
|----------------------------------|---|-------|-------|---|----------|
| 🕐 この種類のファイルは PC に問題を起こす可能性があります。 | C | 実行(R) | 保存(S) | • | キャンセル(C) |



 この画面で「保存」ボタンをクリックして、楽²ビューアのイン ストーラを保存することもできます。その場合は、保存先(デフ ォルトは「ダウンロード」フォルダです)にダウンロードされた "Raku2.exe"を実行してください。



・インストーラ実行時に、「ユーザー アカウント制御」画面が表示 されることがあります。「ユーザー アカウント制御」画面が表示 された場合は[はい]を選択してください。

| ユーザー アカウント制御 × このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します か? |
|---|
| 楽 2 ビューア V5.0 確認済みの発行元: PFU Limited |
| がれんの大学先: このコンビューターエのハードドウイン 詳細を表示 はい いいえ |

・以下のエラーメッセージが表示された場合、 Administrators権 限(コンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログオンし直 してから、再度アップデートしてください。

| 楽 2 ビューア セットアップ | × |
|---|------------|
| Administrators権限がありません。 Administrators権限を持つユーザー: 再度処理を実行してください。 | 名でログインしてから |
| | ОК |

4. しばらくすると、「楽2ビューアのInstallShiled Wizardへようこそ」画面が表示 されます。[次へ]をクリックします。



5. 楽²ビューアの使用許諾契約画面が表示されます。内容を最後までお読みいただき、 同意する場合は[はい]を選択します。

| 楽 2 ビューア セットアップ | × |
|--|-----------------|
| 使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。 | |
| 契約の残りの部分を読むには、[Page Down]キーを押してください。 - | |
| 体製品 :楽2ライブラリ 本ソフトウェア:楽2ビューア | ^ |
| 一重要一 | |
| お客様へ:本ソフトウェアをインストールされる前に必ずお読みください。 | |
| 弊社(株式会社PFU)では、本ソフトウェアをお客様に提供するにあたり下記 「ご使用条件」にご同意いただくことを本ソフトウェアご使用の条件とさせて 」、使用条件」にご同意いただくことを本ソフトウェアご使用の条件とさせて | ~ |
| 使用許諾契約の全条項に同意しますか? [レ゙ル」は〕を選択するとセットアップが終了されま す。楽2ビューア をインストールするには、この使用許諾契約に同意が必要です。 | ÉD 局 (P) |
| nstallShield | |
| < 戻る(B) 【 はい(Y) | いいえ(N) |

6. 楽²ビューアの情報画面が表示されます。内容を最後までお読みいただき、[次へ] を選択します。

| 楽2 | ビューア セットアップ | × |
|--------|--|--------|
| 情 | 程 次のテキストをお読みください。 | 15 and |
| | スクロールして、テキストの残りの部分をお読みください。 | |
| | 楽2ビューア README ファイル | ^ |
| | 株式会社PFU | |
| | -目次- | |
| | 1.インストール時の注意事項 2.アンインストール時の注意事項 3.実行時の注意事項 4.針代確認メール・コトー覧 | J |
| | | > |
| Instal | Shield 〈戻る(B) (次へ(N)>) | キャンセル |

 【新規インストール時のみ】楽²ビューアのインストール先を指定します。既定の フォルダ以外の場所にインストールするときには、[参照]ボタンをクリックして、 インストールするフォルダを選択します。

インストールするフォルダを確認して[次へ]を選択します。

| 楽 2 ビューア セットアップ | × |
|--|------------------|
| インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルタを選択します。 | No. |
| セットアッフりま、次のフォルタリこ 楽2ビューア をインストールします。 | |
| このフォルダへのインストールは、โ欠へ]ボタンをソリックします。 | |
| 別のフォルダヘインストールする場合は、[参照]ポタンをクリックしてフォルタを選択してください。 | |
| インストール先のフォルダ C¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2¥ | 参照(R) |
| nstallShield 〈戻る(B) 〈次へ (N)〉 | + tr)trll |

8. Microsoft Edge(IEモード)利用設定画面が表示されます。

通常は、そのまま [次へ]を選択します。

| 楽 2 ビューア セットアップ | × |
|---|---------------------------------|
| Microsoft Edge(IEモード) 利用設定 | |
| 楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をM ※IEモードを利用するには別途設定が必要です。 | icrosoft Edge(IEモード)で利用可能にしますか? |
| ☑ Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| InstallShield | < 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル |



- ・この画面は、インストールする楽²ビューアのバージョン・レベ ルが「V5.0L47」以降の場合にのみ表示されます。
- ・この画面では、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画 面をMicrosoft Edge(IEモード)で使えるようにするための設定を 行います。

なお、Microsoft Edge(IEモード)を利用するには、楽²ビューア のインストール/更新後、「IEモード設定ツール」を使って楽2 サーバを登録する必要があります。

- ・「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」の既定のチェッ ク状態は次のようになっています。
 - 初めて Microsoft Edge(IEモード)の設定を行う場合は、チェックが入っている状態で画面が表示されます。チェックを外すと、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を Microsoft Edge(IEモード)で利用することはできません。
 - Microsoft Edge(IEモード)が利用できるように設定されているコンピュータの場合はチェックが入っていない状態で表示されます。チェックを入れた場合の動作は、次ページの「まって!」を参照してください。



・この画面が表示されたときに、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」にチェックが入っていない状態になっている場合は、通常はそのままチェックしないで[次へ]を選択してください。

チェックを入れた場合、設定済みのIEモード利用設定は破棄され、 楽²ライブラリ クライアントサーバ専用の設定に置き換えられ ます。

置き換えて良い場合のみ、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可 能にする」にチェックを入れてから[次へ]を選択してください。

[次へ]を選択すると、設定を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。設定を上書きする場合は[はい]を選択してください。



 ・すでにIEモード設定が行われているコンピューターに楽²ビューア V5.0L47以降をインストールする場合は、インストール時に表示 される「Microsoft Edge(IEモード)利用設定」画面で「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」のチェックを必ずOFFにし て、[次へ]をクリックしてください。
 また、この場合、「IEモード設定ツール」はお使いいただけません。「IEモード設定ツール」を用いて楽2サーバを登録しても、

IEモードで接続することはできません。

【新規インストール時】「ファイル コピーの確認」画面、または【更新インストール時】「楽2ビューアの更新情報」画面が表示されます。表示内容を確認して[次へ]を選択すると、楽²ビューアをインストール/更新します。完了までしばらくお待ちください。

| 楽 2 ビューア セットアップ | × |
|---|--------|
| ファイル コピーの開始 ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。 | 1 |
| 7泊ゲラム ファイルのエピーを開始するための情報制は次の通りです。設定を確認して、変更を必要とする場合 「戻る」本などを外ックします。現在の設定でよい場合は、「次へ」本文ンを外ックするとファイルのエピーを開始します 現在の設定 | a ° |
| インストール先:C¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2¥ 梁2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をMicrosoft Edge(IEモード)で利用できるように設う | |
| < | ^ |
| InstallShield | |

【更新インストール時】

| 楽21 | ビューア セットアップ | × |
|--------|---|----------------|
| 楽 | 2ビューアの更新情報 | |
| | 楽2ビューアの更新情報 | |
| | 楽2ビューア V5.0L 参更新する 楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面をMicrosoft Edge(IEモード)で利β | 月できるように設5 ^ |
| | | ~ |
| Instal | Shield | > |
| motal | < 戻る(B) (次へ (N)) | + +>>セル |

10. セットアップ完了画面が表示されたら、楽²ビューアのインストールは完了です。





次の画面が表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動しま す。」を選択して[完了]をクリックして、コンピュータを再起動し てください。



2. 楽2サーバを信頼済みサイトに登録する

楽2サーバを信頼済みサイトに登録します.

1. コントロールパネルを起動します。

コントロールパネルは以下から起動できます。

Windows 10 の場合、スタートメニューの「Windows システム ツール」 Windows 11 の場合、スタートメニューの「Windows ツール」

2. 「ツール」 – 「インターネット オプション」を選択します。

⇒ インターネット オプション画面が表示されます。

 「セキュリティ」タブの[信頼済みサイト]アイコンをクリックし、[サイト] ボタンをクリックします。

⇒ 信頼済みサイト画面が表示されます。



4. 信頼済みサイト画面で、楽2サーバのアドレス(URL)を指定して、[追加]をク

リックします。

| 😪 信頼済みサイト | × | | |
|--|-------------|--|--|
| このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾー べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。 | ンの Web サイトす | | |
| この Web サイトをゾーンに追加する(D): | | | |
| http://raku2server.jp/ | 追加(A) | | |
| Web サイト(W): | | | |
| ^ | 削除(R) | | |
| | | | |
| | | | |
| × | | | |
| □このソーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S) | | | |
| | 閉じる(C) | | |

・楽2サーバのアドレス(URL)に「/raku2lib」の指定は不要です。
 ・「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https)を必要とする」のチェックは外してください。

⇒ Webサイト欄に楽2サーバが登録されたことを確認して画面を閉じてください。

続いて、接続する楽2サーバをIEモードで利用するための設定を行います。設定方法に応じてそれぞれ以下を参照してください。

・お使いのコンピューターで初めてIEモードを設定する場合

- 楽2サーバのみを設定する場合

⇒ 「3. 接続する楽2サーバのアドレスを登録する」

- − 他のコンピューターで作成したIEモード定義ファイル(XMLファイル)をインポートする場合
 ⇒「4. IEモード定義ファイル(XMLファイル)をインポートする」
- ・ お使いのコンピューターにすでにIEモードが設定されている場合

⇒ [5. 楽2サーバをIEモード設定に追加する]

3. 接続する楽2サーバのアドレスを登録する

楽²ビューアのインストール時、「Microsoft Edge(IEモード)で利用可能にする」を指定 した場合には、Microsoft Edge(IEモード)で接続する楽2サーバのアドレスをIEモード定 義ファイルに登録する必要があります。

この登録には「楽2ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール」を用います。 次の手順で楽2サーバのアドレスを登録します。

1. 「IEモード設定ツール」を起動します。

スタートメニューの「楽2ビューア」にある「IEモード設定ツール」を選択します。





- ・スタートメニューの表示方法はオペレーティングシステム(OS)に より異なります。
- ・「IEモード設定ツール」は楽²ビューアをインストールしたフォ ルダの「IEModeSet」フォルダにある「IEModeSet.exe」を実行 することでも起動できます。

2. 「IEモード設定ツール」が起動し、次の画面が表示されます。

| 第 楽 2 ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール X |
|--|
| Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリクライアントサーバのサーバ名を指定するか、 インボートするIEモード定義ファイルXMLファイル)を指定してください。 |
| ◎ 楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。) |
| サーバ名1: |
| サーバ名2: |
| サーバ名3: |
| 【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など |
| ※「Inttp://」や「/raku2lib」などは不要です。 ※入力したサーバ名で架2ライブラリクライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。 |
| ○ インボートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。 |
| 参照 |
| 設定を保存します 設定を保存します 設定を保存せずに終了します |



・前回本ツールを使って設定している場合は、前回指定した値が表示 されます。

3. 接続するサーバ名を「サーバ名1」「サーバ名2」「サーバ名3」の入力欄に指定 します。

楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定しているア ドレスのうち、**サーバ名部分のみ**を指定します。

| 🎬 楽 2 ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール | × |
|--|---|
| Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリクライアントサーバのサーバ名を指定するか、 インボートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。 | |
| ◎ 楽2ライブラリクライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。) | |
| サーバ名1: <mark>server.jp</mark> サーバ名2: ^[192,168,1,2] サーバ名3: | |
| 【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など | |
| ※「トャサージ/ノ」や「レヘールークリル」かどけ不更です | |

- (例1) 楽² ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定しているアドレスが「http://server.jp/raku2lib」の場合:
 ⇒ server.jp を記入します。
- (例2) 楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示するときに指定してい るアドレスが「http://192.168.1.2/raku2lib」の場合:



・楽2サーバにアクセスするポート番号が既定のHTTPポート(80)以 外の場合は、下記のように、サーバ名の後に「:<ポート番号>」を 付けて指定してください。



- ・サーバ名には、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面 を表示するときに指定するすべての方法を指定してください。
 例えば、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を表示 するときに指定しているアドレスに「http://server.jp/ raku2lib」と「http://192.168.1.2/raku2lib」の2つを使って いる場合は、「server.jp」と「192.168.1.2」の両方を指定する 必要があります。
- ・新規にサーバ名を登録する場合は、サーバ名は1つ以上記入する必 要があります。
- ・前回「IEモード設定ツール」でサーバ名を登録したときには、登録 されているサーバ名を変更することができます。その場合、すべて のサーバ名を削除すると、設定済みのサーバ情報が削除されます。
- ・記入したサーバ名が正しいかどうかはチェックしませんので、正し いサーバ名を記入しているかどうか確認してください。 なお、同じサーバ名を複数記入しても、そのまま登録されます。
- ・登録を中止したいときには[設定を保存せずに終了します]ボタンを クリックしてください。(画面右上の×ボタンでも中止できます)

4. [設定を保存します]ボタンをクリックします。

操作によって、それぞれ次の確認メッセージが表示されます。 [はい]を選択するとIEモード定義ファイルを作成/更新/削除します。

【新規にIEモード定義ファイルを作成する場合】



【IEモード定義ファイルを更新する場合】



【IEモード定義ファイルを削除する場合】



5. 完了画面が表示されます。

IEモード定義ファイルが正常に作成/更新されると、完了画面が表示されます。 [OK]をクリックすると、「IEモード設定ツール」が終了します。

| 設定完了 | | × |
|------|---|---|
| i | IEモード定義ファイルを出力しました。 Microsoft Edgeのキャッシュを削除してから接続してください。 | |
| | OK | |



6. Web ブラウザのキャッシュをクリアします。

「IEモード設定ツール」で設定した内容を反映するには、Microsoft EdgeとIEモードの キャッシュをクリアする必要があります。

₹27! M/2

・ここで説明する手順は2020年8月時点のものです。Microsoft Edgeの仕様が変更される場合があります。

1. Microsoft Edgeを起動し、楽²ライブラリ以外のページを表示します。

・楽²ライブラリのページを表示した状態でキャッシュをクリアすると、表示しているページがキャッシュされるため、正常にIEモードで表示できません。

- 2. 表示されているページ上で、次のいずれかの方法で「閲覧データのクリア」画面を 表示します。
 - キーボードの「Ctrl+Shift+DEL」キーを押す。
 (CtrlキーとShiftキーを押しながらDELキーを押す)
 - Microsoft Edge画面右上の「…」ボタンをクリックし、「履歴」⇒「閲覧データを クリア」メニューを選択する。
 - Microsoft Edgeのアドレスバーに「<u>edge://settings/clearBrowserData</u>」と入力 してEnterキーを押す。

3. 「閲覧データをクリア」画面で、「時間の範囲」を「すべての期間」に、「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを入れて、[今すぐクリア]ボタンをクリックします。

| × 閲覧データをクリア |
|---|
| 時間の範囲 |
| すべての期間 くうない シング |
| ✓ キャッシュされた画像とファイル MBを解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。 パスワード 個のパスワード 個のパスワード オートフィル フォーん データ (フォーんやカードを含す)) |
| |
| サイトのアクセス許可 |
| Internet Explorer モードの閲覧データをクリアする |
| この操作では、このデバイス上のデータのみがクリアされます。同期されている すべてのデバイスおよびすべての Microsoft アカウントから閲覧データをクリア するには、 <mark>同期を有効にする</mark> 操作を行ってください。 |
| \$\$\$\$7 |
| |

4. 再度、手順2.で説明した方法で、「閲覧データをクリア」画面を開きます。

5. 「閲覧データをクリア」画面下部にある「Internet Explorer モードの閲覧データ をクリアする」をクリックします。

| ß | 3覧データをクリア | \times |
|--------|--|----------|
| 時 | 間の範囲 | |
| | すべての期間 く | |
| | キャッシュされた画像とファイル MBを解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時に読 み込みが遅くなる可能性があります。 パスワード 個のパスワード オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む) サイトのアクセス許可 | |
| | ternet Explorer モードの閲覧データをクリアする | |
| े इ | の操作では、このデバイス上のデータのみがクリアされます。 同期されている の操作では、このデバイスおんびすべての Microsoft アカウントから閲覧データをクリフ るには、 <mark>同期を有効にする</mark> 操作を行ってください。 | 7 |
| | 今すぐクリア キャンセル | |

6. 「閲覧の履歴の削除」画面が表示されますので、「インターネットー時ファイルおよびWebサイトのファイル」にチェックを入れて [削除]ボタンをクリックします。

| 閲覧の履歴の削除 X |
|---|
| □ お気に入り Web サイト データを保持する(R) お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするために 使用される、Cookie とインターネット一時ファイルを保持します。 |
| インターネットー・時ファイルおよび Web サイトのファイル(T) 情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアの コピーです。 |
| クッキーと Web サイト データ(O) 基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイトによってコンピューターに格納されたファイルまたはデータベースです。 |
| □ 履歴(H) 閲覧した Web サイトの一覧です。 |
| □ ダウンロードの履歴(W) ダウンロードしたファイルの一覧です。 |
| □ フォーム データ(F) |
| フォームに入力した情報を保存したものです。 |
| □ パスワード(P) |
| 以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、 パスワード情報を格納したファイルです。 |
| □追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ(K) |
| フィルター処理から除外される Web サイトの一覧、閲覧した情報を自動的に流出させ ている可能性があるサイトを検出するために追跡防止が使用するデータ、およびトラッキ ング拒否要求に対する例外です。 |
| 閲覧の履歴の削除についての詳細 削除(D) キャンセル |

7. Microsoft Edgeを閉じます。

8. Microsoft Edgeで楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開き、IEモ ードで表示されることを確認します。

正常に起動されると、タブやアドレスバーにInternet Explorerのアイコンが表示され、 バインダが表示されるようになります。





・楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面がIEモードに ならない場合の対処方法は、「<u>6.困ったときには</u>」を参照してく ださい。

4. IEモード定義ファイル(XMLファイル)をインポ ートする

本章では、他のコンピュータで作成した IE モード定義ファイル(XML ファイル)を、イン ポートする手順について説明します。

 他のコンピュータで作成したIEモード定義ファイル(XMLファイル)を、任意のフォ ルダに配置します。



2. 「IEモード設定ツール」を起動します。

スタートメニューの「楽2ビューア」にある「IEモード設定ツール」を選択します。



- ・スタートメニューの表示方法はオペレーティングシステム(OS)に
 より異なります。
 - ・「IEモード設定ツール」は楽²ビューアをインストールしたフォ ルダの「IEModeSet」フォルダにある「IEModeSet.exe」を実行 することでも起動できます。

3. 「IEモード設定ツール」が起動し、次の画面が表示されます。

| 🎁 楽 2 ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール | × |
|---|---|
| Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定するか、 インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。 | |
| ◎ 楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。) | |
| サーバ名1: | |
| サーバ名2: | |
| サーバ名3: | - |
| 【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など | |
| ※「http://」や「/raku2lib」などは不要です。 ※ 入力したサーバ名で楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。 | |
| ○ インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。 | |
| 参照 | |
| 設定を保存します 設定を保存せずに終了します | |



・前回本ツールを使って設定している場合は、前回指定した値が表 示されます。

インポートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します」を選択する
 と、画面が次のように変わります。入力欄にIEモード定義ファイル(XMLファイル)
 のフルパス名を指定します。

| 🎬 楽 2 ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール | × |
|---|---|
| Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリクライアントサーバのサーバ名を指定するか、 インボートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。 | |
| ○ 楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。(最大3つまで指定できます。) | |
| サーバ名1: | |
| サーバ名2: | |
| サーバ名3: | - |
| 【入力例】 server.jp、 192.168.1.2、 server2.jp:8080 など | |
| ※「http://」や「/raku2lib」などは不要です。 ※ 入力したサーバ名で楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。 | |
| ○ インボートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。 | |
| 参照 | |
| 設定を保存します 設定を保存します 設定を保存せずに終了します | |



・[参照...]ボタンをクリックすると、ファイルを選択することができます。



IEモード定義ファイルを選択して[開く]ボタンをクリックする と、選択したXMLファイルのフルパスが入力欄にセットされます。

5. インポートするXMLファイルが正しいことを確認し、[設定を保存します]ボタンを クリックすると、指定したXMLファイルがインポートされます。

| 🎢 楽 2 ライブラリ クライアントサーバ IEモード設定ツール | × |
|---|---|
| Microsoft EdgeのIEモードを利用する楽2ライブラリクライアントサーバのサーバ名を指定するか、 インボートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定してください。 | |
| ○ 楽2ライブラリ クライアントサーバのサーバ名を指定します。 (最大3つまで指定できます。) | |
| サーバ名1: | |
| サーバ名2: | |
| サーバ名3: | _ |
| 【入力例】 server.jp、192.168.1.2、server2.jp:8080 など | |
| ※「http://」や「/raku2lib」などは不要です。 ※ 入力したサーバ名で楽2ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面に接続したときのみ、IEモードをお使いいただけます。 | |
| ● インボートするIEモード定義ファイル(XMLファイル)を指定します。 ○.¥wrk¥Raku2Sites xml 参照 | |
| 設定を保存します 設定を保存せずに終了します | |

6. インポートが完了すると完了画面が表示されます。

IEモード定義ファイルのインポートが成功すると、完了画面が表示されます。 [OK]をクリックすると、「IEモード設定ツール」が終了します。

| 設定完了 | | × |
|------|---|---|
| i | IEモード定義ファイルを出力しました。 Microsoft Edgeのキャッシュを削除してから接続してください。 | |
| | OK | |

 ・IEモード定義ファイルがインポートできなかったときにはエラー メッセージが表示されます。エラーメッセージの内容については、
 「4. 困ったときには」を参照してください。

7. Webブラウザのキャッシュをクリアします。

1. Microsoft Edgeを起動し、楽²ライブラリ以外のページを表示します。



 ・楽²ライブラリのページを表示した状態でキャッシュをクリア すると、表示しているページがキャッシュされるため、正常に IEモードで表示できません。

- 2. 表示されているページ上で、次のいずれかの方法で「閲覧データのクリア」画面 を表示します。
 - キーボードの「Ctrl+Shift+DEL」キーを押す。
 (CtrlキーとShiftキーを押しながらDELキーを押す)
 - Microsoft Edge画面右上の「…」ボタンをクリックし、「履歴」⇒「閲覧データ をクリア」メニューを選択する。
 - Microsoft Edgeのアドレスバーに「edge://settings/clearBrowserData」と入 力してEnterキーを押す。

3. 「閲覧データをクリア」画面で、「時間の範囲」を「すべての期間」に、「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを入れて、[今すぐクリア]ボタンをクリックします。

| × 閲覧データをクリア |
|---|
| 時間の範囲 |
| すべての期間 ~ |
| ✓ キャッシュされた画像とファイル MB を解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時に読み込みが遅くなる可能性があります。 バスワード 個のパスワード オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む) サイトのアクセス許可 |
| Internet Explorer モードの閲覧データをクリアする |
| この操作では、このデバイス上のデータのみがクリアされます。 同期されている すべてのデバイスおよびすべての Microsoft アカウントから閲覧データをクリア するには、 <mark>同期を有効にする</mark> 操作を行ってください。 |
| \$\$\$(7) |
| |

4. 再度、手順2.で説明した方法で、「閲覧データをクリア」画面を開きます。

5. 「閲覧データをクリア」画面下部にある「Internet Explorer モードの閲覧デー タをクリアする」をクリックします。

| 閲覧データをクリア | × |
|--|---|
| 時間の範囲 | |
| すべての期間 | \sim |
| ✓ キャッシュされた画像とファイ MBを解放します。一部の み込みが遅くなる可能性があり。 パスワード 個のパスワード オートフィルフォームデータ(| (ル サイトでは、次回のアクセス時に読 ます。 フォームやカードを含む) |
| サイトのアクセス許可 | |
| Internet Explorer モードの閲覧データ | 76017753 |
| この操作では、このデバイス上のデータの すべてのデバイスおよびすべての Micros するには、 <mark>同期を有効にする</mark> 操作を行・ | Dみがクリアされます。 同期されている soft アカウントから閲覧データをクリア ってください。 |
| 今すぐクリア | キャンセル |
| | |

 「閲覧の履歴の削除」画面が表示されますので、「インターネットー時ファイル およびWebサイトのファイル」にチェックを入れて [削除]ボタンをクリックし ます。

| 閲覧の履歴の削除 × | |
|---|--|
| □ お気に入り Web サイト データを保持する(R) お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするために 使用される、Cookie とインターネットー時ファイルを保持します。 | |
| ✓ インターネット―時ファイルおよび Web サイトのファイル(T) 情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアの コピーです。 | |
| クッキーと Web サイト データ(O) 基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイトに よってコンピューターに格納されたファイルまたはデータベースです。 | |
| □ 履歴(H) 閲覧した Web サイトの一覧です。 | |
| □ダウンロードの履歴(W) ダウンロードしたファイルの一覧です。 | |
| □ フォーム データ(F) | |
| フォームに入力した情報を保存したものです。 | |
| □ パスワード(P) | |
| 以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、 パスワード情報を格納したファイルです。 | |
| □追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ(K) | |
| フィルター処理から除外される Web サイトの一覧、閲覧した情報を自動的に流出させ ている可能性があるサイトを検出するために追跡防止が使用するデータ、およびトラッキ ング拒否要求に対する例外です。 | |
| 閲覧の履歴の削除についての詳細 削除(D) キャンセル | |

7. Microsoft Edgeを閉じます。

8. Microsoft Edgeで楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開き、IE モードで表示されることを確認します。

正常に起動されると、タブやアドレスバーにInternet Explorerのアイコンが表示され、バインダが表示されるようになります。





・楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面がIEモードに ならない場合の対処方法は、「<u>6.困ったときには</u>」を参照してく ださい。

5. 楽2サーバをIEモード設定に追加する

IE モードを楽²ライブラリ クライアントサーバのサーバー以外でお使いの場合は、ご自身 で楽²ライブラリ クライアントサーバのサーバー(楽 2 サーバ)を IE モードでアクセスする ように設定する必要があります。

既存の IE モード設定に楽2サーバを追加する方法については、マイクロソフトのサイト等 を確認いただくか、IE モード設定を管理しているシステム管理者にお問い合わせください。

以下に設定を行うときの注意事項を示します。

 IE モードのエンタープライズ モード サイト リストが URL(http:// や https://で 始まるサイト)で提供されている場合は、サイトリスト管理者に以下の内容での楽2サ ーバの追加を依頼してください。

<site url="<u>〈楽² ライブラリ クライアントサーバのサーバホスト名></u>"> <compat-mode>IE8Enterprise</compat-mode> <open-in>IE11</open-in> </site>

(例) 楽² ライブラリ クライアントサーバへのアクセス URL が
 "http://raku2server.jp/raku2lib"の場合の設定例

<site url="raku2server.jp"> <compat-mode>IE8Enterprise</compat-mode> <open-in>IE11</open-in> </site>

サイトリストへの追加ができない場合は、ローカルディスク上に楽2サーバを追加したサイトリストを保存して設定します。

⇒ 提供されているサイトリスト(XML)をローカルディスク上にダウンロードします。 ダウンロードしたサイトリストファイル(XML)に、上記の「<既存の IE モード エ ンタープライズ モード サイト リストに追加する内容>」を参考にして楽2サー バを追加します。

このファイルをエンタープライズ モード サイト リストに登録します。

設定後、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開き、IEモードで表示されることを確認します。

正常に起動されると、タブやアドレスバーにInternet Explorerのアイコンが表示され、バインダが表示されるようになります。





・楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面がIEモードに ならない場合の対処方法は、「<u>6. 困ったときには</u>」を参照してく ださい。

6. 困ったときには

ここでは、IEモード設定時のQ&Aについて説明します。

《現象》

楽²ビューアのインストール時に、IEモード利用設定をしないでインストールし ましたが、IEモードを利用するにはどうしたらよいですか?

- ⇒ 楽²ビューアのインストール時に、Microsoft Edge(IEモード)を利用しないように指定してインストールし、あとでIEモードを利用したいときには、次のいずれかの対応を行ってください。
 - 楽²ビューアを「Microsoft Edge(IEモード)を利用可能にする」を有効に設 定して再インストールします。
 - 手動でIEモードが使えるように設定します。

《現象》

楽²ビューアをインストールしましたが、スタートメニュー「楽2ビューア」に 「IEモード設定ツール」ショートカットがありません。

⇒ インストールされている楽²ビューアが、Microsoft Edge(IEモード)に対応し た楽²ライブラリ クライアントサーバ(V5.0L52以降)に同梱されているもの ではありません。

インストールされている楽²ビューアがV5.0L47より古いバージョン・レベル の場合は、IEモードに対応した楽²ライブラリ クライアントサーバ(V5.0L52 以降)に同梱している楽²ビューアを更新インストールしてください。

他製品の楽²ビューアがインストールされている場合は、インストールされて いる楽²ビューアをアンインストールし、IEモードに対応した楽²ライブラリ クライアントサーバ(V5.0L52以降)に同梱している楽²ビューアをインストー ルしてください。

⇒ ごく希に、楽²ビューア(V5.0L47以降)が正常にインストールされているにも かかわらず「IEモード設定ツール」ショートカットが作成されない場合があり ます。楽²ビューア(V5.0L47以降)を再インストールしてください。 なお、ショートカットがない場合、エクスプローラーで「<u><楽²ビューア イン</u> ストールフォルダ>¥IEModeSet」フォルダーを開き、「IEModeSet.exe」を 実行することもできます。 《現象》 IEモード設定ツールが起動できません。

⇒ お使いのコンピュータに「Visual Studio 2015,2017,2019用 Microsoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ (x86)」がインストールされていません。 楽²ビューアをアンインストールしてから、再インストールしてください。

もしくは「Visual Studio 2015,2017,2019用 Microsoft Visual C++ 再頒布 可能パッケージ (x86)」をマイクロソフトのサイトからダウンロードしてイン ストールしてください。その場合は、必ずx86版をインストールしてください。

《現象》

手順通りに設定しましたが、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画 面がIEモードで表示されません。

⇒ 以下を確認してください。

- Internet Explorerがインストールされていない場合は、インストールしてく ださい。(通常、Internet Explorerはインストールされています)
 - スタートボタンを右クリックすると表示されるメニューから「アプリと 機能」を選択すると、「アプリと機能」画面が表示されますので、「オ プション機能」をクリックします。

| 設定 | – 🗆 X |
|--------------------------------------|--|
| ☆ ホ−ム | アプリと機能 |
| 設定の検索・ク | アプリを入手する場所の選択 |
| アプリ | Microsoft Store だけからアプリをインストールすると、お使いのデバイスを 保護するために役立ちます。 |
| ▲ 「三 アプリと機能 | 場所を選ばない、 |
| ≒ 既定のアプリ | マゴニレ業作 |
| 血 オフライン マップ | ナブリン100 HE オブション機能 |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | アブリ実行エイリアス |
| [1] ビデオの再生 | 絵志わ並べ魅うを行ったり ドライブプフィルターをかけたりできます マプロ |

2. オプション機能画面に「Internet Explorer 11」があることを確認しま す。ない場合は、「機能の追加」をクリックして、「Internet Explorer 11」を追加してください。

| ← 設定 | - 0 |
|------------------------|---------|
| ☆ オプション機能 | |
| オプション機能 | |
| オプション機能の履歴を表示 | |
| + 機能の追加 | |
| Internet Explorer 11 | 1.60 MB |
| - Japanese bandwriting | 29.0 MB |

- Internet Explorerが古い可能性があります。Internet Explorer 11にアップ デートしてください。
- 最新のWindows Updateを適用してください。
- 再度Microsoft EdgeのキャッシュとInternet Explorerモードのキャッシュ をクリアしてください。
- Microsoft Edgeを再起動してください。
- コンピュータを再起動してください。
- IEモード設定ツールで指定したサーバ名が間違っている可能性があります。 再度IEモード設定ツールで設定してください。
- IEモード定義ファイルをインポートした場合、インポートしたファイルが間 違っている可能性があります。正しいファイルをインポートしてください。
- IEモード定義ファイルをインポートした場合、インポートしたファイルの定 義内容が間違っている可能性があります。インポートしたファイルの内容を 確認してから、再度インポートしてください。

《現象》

IEモード設定ツールでサーバ名を指定して設定を保存しようとしたら、「サー バ名xに使用できない文字が含まれています。入力内容を確認してください」 (xには1/2/3いずれかの数字が入ります)のエラーメッセージが表示されます。

- ⇒ サーバ名に指定できない文字が含まれています。
 - サーバ名に「http://」や「/raku2lib」を付けていませんか。サーバ名には これらの指定は不要です。

サーバ名にIEモード設定ツールで使用できない記号が含まれています。サーバ名に指定できる記号は、ピリオド(.)、ハイフン(-)、アンダースコア(_)、コロン(:)のみです。

これら以外の記号がサーバ名に含まれている場合は、IEモード設定ツールを 使わず、「Enterprise Site List Manager」等でIEモード定義ファイルを作 成して、以下の場所/ファイル名で保存してください。 IEモード定義ファイルは、次のファイルです。

<楽²ビューア インストールフォルダ>¥IEModeSet¥Raku2Sites.xml

※既定の<楽²ビューア インストールフォルダ>は以下の場所です、
 64ビットOSの場合: C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2
 32ビットOSの場合: C:¥Program Files¥PFU¥Raku2

《現象》

IEモード設定ツールでサーバ名を指定して設定を保存しようとしたら、エラー メッセージが表示されます。

- ⇒ 表示されるメッセージの内容に応じて、以下の対応を行ってください。
 - サーバ名が指定されていません。入力内容を確認してください。
 - ⇒ 新規にIEモード定義ファイルを作成する場合は、サーバ名を1つ以上指 定する必要があります。
 - サーバ名 x に使用できない文字が含まれています。入力内容を確認してください。※ x には1/2/3のいずれかの数字が入ります。
 - ⇒ サーバ名に使用できない文字が含まれています。上述のQ&Aの内容を参 照して、サーバ名を修正してください。
 - IEモード定義ファイルが出力できませんでした。しばらく待ってから再度保存してください。
 - ⇒ IEモード定義ファイルに情報を出力できませんでした。一時的にIEモー ド定義ファイルに書き込みできなかった可能性があります。しばらく待 ってから再度保存操作を行ってください。
 - なお、IEモード定義ファイルは、次のファイルです。
 - <楽²ビューア インストールフォルダ >¥IEModeSet¥Raku2Sites.xml
 - ※既定の<楽²ビューア インストールフォルダ>は以下の場所です、
 64ビットOSの場合: C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2
 32ビットOSの場合: C:¥Program Files¥PFU¥Raku2
 - IEモード定義ファイルは出力しましたが、入力内容を保存できませんでした。そのままでもIEモードを利用可能ですが、念のため設定し直すことをおすすめします。

⇒ IEモード定義ファイルは作成されましたが、画面に入力した情報が保存 できませんでした。この状態でIEモードの利用は可能ですが、次に「IE モード設定ツール」を実行したときに前回の設定情報が正しく表示され ません。

再度「IEモード設定ツール」を実行して、画面の情報をIEモード定義ファイルに合わせておくことをおすすめします。

- IEモード定義ファイルを削除できませんでした。しばらく待ってから再度実行してください。
 - ⇒ IEモード定義ファイルを削除できませんでした。一時的にIEモード定義 ファイルを操作できなかった可能性があります。しばらく待ってから再 度削除操作を行ってください。

《現象》

IEモード設定ツールで「XMLファイルをインポートします」を指定して設定を 保存しようとしたら、エラーメッセージが表示されます。

- ⇒ 表示されるメッセージの内容に応じて、以下の対応を行ってください。
 - インポートするXMLファイルが存在しません。存在するファイルを指定して ください。
 - ⇒ インポートするXMLファイルが存在しません。存在するファイルを指定 してください。
 - IEモード定義ファイルが出力できませんでした。しばらく待ってから再度保存してください。
 - ⇒ IEモード定義ファイルに情報を出力できませんでした。一時的にIEモー ド定義ファイルに書き込みできなかった可能性があります。しばらく待 ってから再度保存操作を行ってください。

なお、IEモード定義ファイルは、次のファイルです。

<楽²ビューア インストールフォルダ>¥IEModeSet¥Raku2Sites.xml

※既定の<楽²ビューア インストールフォルダ>は以下の場所です、
 64ビットOSの場合: C:¥Program Files (x86)¥PFU¥Raku2
 32ビットOSの場合: C:¥Program Files¥PFU¥Raku2

- IEモード定義ファイルは出力しましたが、入力内容を保存できませんでした。そのままでもIEモードを利用可能ですが、念のため設定し直すことをおすすめします。
 - ⇒ IEモード定義ファイルは作成されましたが、画面に入力した情報が保存 できませんでした。この状態でIEモードの利用は可能ですが、次に「IE モード設定ツール」を実行したときに前回の設定情報が正しく表示され ません。

再度「IEモード設定ツール」を実行して、画面の情報をIEモード定義ファイルに合わせておくことをおすすめします。

《現象》

他のWebサイトをIEモードで利用できるように設定しています。楽²ライブラ リ クライアントサーバのブラウザ画面もIEモードで使えるようにしたいので すが、どのように設定すれば良いですか。

⇒ 本書で説明している手順以外の方法でIEモードを設定しているコンピュータ に楽²ライブラリ クライアントサーバのサイトを追加したいときには、本書の 手順ではなく、手動で登録してください。

《現象》

「IEモード設定ツール」を使って、IEモード定義ファイルを作成(更新)しましたが、次にツールを起動したときに、前回の入力値が表示されません。

⇒「IEモード設定ツール」を起動したときに、前回の入力情報が読み込めませんでした。 一度「IEモード設定ツール」を終了して、しばらく待ってから起動し直してください。 もしくは、新たにサーバ名またはインポートするXMLファイルを指定し直してください。

《現象》

「IEモード設定ツール」を使って、IEモード定義ファイルを作成(更新)しましたが、次にツールを起動したときに、前回の設定と違う情報が表示されます。

⇒ 前回「IEモード設定ツール」で設定を保存したときに、以下のメッセージが表示されましたが、設定し直さなかった場合に、前回の設定とは異なる情報が表示されることがあります。

IEモード定義ファイルは出力しましたが、入力内容を保存できませんで した。そのままでもIEモードを利用可能ですが、念のため設定し直すこ とをおすすめします。

表示されている内容を修正して、設定を保存してください。